

名古屋環状2号線西南部・南部区間の整備促進に関する要望

平素より名古屋環状2号線西南部・南部区間の整備促進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

名古屋環状2号線は、三大都市圏環状道路の一つとして、名古屋市周辺の10km圏内に位置し、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路とを連結する極めて重要な道路であります。

現在は、専用部の全体延長約66kmのうち約54kmが開通し、未開通区間は、名古屋西JCTから飛島JCT(仮)までの西南部・南部区間約12kmのみとなっております。

名古屋西南部地域は、日本一の輸出額を誇り、中京大都市圏にとっても最も重要な物流拠点の一つである名古屋港を擁しています。しかし、名古屋港と内陸地域に広く立地した日本有数の産業集積地をつなぐ南北方向の高速道路ネットワークが不十分であるため、本地域の有する高いポテンシャルが十分に活かされていません。

名古屋港と産業集積地との連携強化につながる名古屋環状2号線西南部・南部区間の開通は、移動時間の短縮や定時性の向上による物流の効率化、物流の高度化に向けた基盤となり、ホワイト物流推進運動にも寄与するものとなります。また、卓越した産業集積で日本経済を牽引する本地域が、コロナ禍から立ち直る起爆剤となり、ポストコロナ時代のくらしや経済を支えていくためにも、名古屋環状2号線の日も早いストック効果の発現が必要です。

加えて、高速道路ネットワークを賢く使うとともに、必要なネットワーク整備のスピードアップのため、中京圏における新たな高速道路料金を、名古屋環状2号線西南部・南部区間(専用部)の開通に合わせて確実に導入することも併せて重要です。

一方で、当地域は、広大な海拔ゼロメートル地帯を有するという大きな課題を抱えています。南海トラフ地震など大規模災害から国民の生命・財産を守り、国民の生活及び経済に及ぼす影響を最小化するためにも、高架

構造の緊急輸送道路となる名古屋環状2号線を完成させることが大変重要です。

また、名古屋環状2号線西南部・南部区間の開通による経済効果としては、これまでの開通区間と合わせて、最初の開通から約80年間で約10兆2千億円もの効果が見込まれており、名古屋都市圏の地域経済を牽引する役割が期待されます。

名古屋環状2号線の全線完成は地元の悲願であるため、名古屋環状2号線西南部・南部区間について、次の項目を地元の総意として強く要望いたしますので、特別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 1 本地域の国際競争力の強化を図るとともに、本地域がコロナ禍から立ち直る起爆剤となり、ポストコロナ時代のくらしや経済を支えていくため、名古屋環状2号線西南部・南部区間の一日も早い開通を図ること。
- 2 一般部について、暫定2車線区間の4車線化を図ること。
- 3 物流における平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、名古屋環状2号線西南部・南部区間(専用部)を重要物流道路に指定すること。
- 4 名古屋環状2号線を含む中京圏の高速道路ネットワークを賢く使うとともに、必要なネットワーク整備のスピードアップのため、中京圏における新たな高速道路料金を、名古屋環状2号線西南部・南部区間(専用部)の開通に合わせて確実に導入すること。

2020年12月

愛知県知事
名古屋市長
飛島村長
名古屋港管理組合管理者愛知県知事
名古屋商工会議所会頭
一般社団法人中部経済連合会会長

大河加山水
村村藤村本野
秀たかし彦章土久
秀たかし彦章土久